町長あいさつ

70年の歩みを未来へ



河南町長
森田 昌吾



河南町は、昭和31年の町制施行以来、先人の皆さまのたゆまぬ努力と町民の皆さまの温かい支えにより発展を重ね、本年70周年という大きな節目を迎えました。

豊かな自然や歴史文化を大切に守り育てながら、時代の変化に応じたまちづくりを進め、住みよいまちとして歩みを重ねてまいりました。

この70年の歩みに深く感謝するとともに、これからも魅力と活力にあふれる河南町を次の世代へ引き継いでまいります。

70周年記念事業一覧

シンボル事業・特別事業

9月 町制施行70周年記念式典
70周年の節目を祝い、これまでの歩みを振り返る記念式典を開催します。

11月 だんじりパレード
町内のだんじりが一堂に集結。地域に受け継がれてきた伝統を感じる、熱気あふれるパレードを行います。

12月 演芸文化事業
吉本新喜劇などの演芸文化を通じて、笑顔と笑いをお届けします。

2月 南河内地域2町1村 70周年記念イベント
南河内2町1村が70周年を迎えることを記念し、合同イベントを開催します。

冠事業

- 4月 こども図書館まつり
- 5月 子どもゆめづくりフェスティバル
- 7月 ぶくぶくサンデーコンサート
- 9月 総合スポーツ大会
- 10月 秋の文化祭典
- 11月 障がい者ふれあいスポーツ大会
- 12月 農業フェア
- 1月 二十歳の集い
- 2月 あそびの広場
- 3月 かなん桜まつり

町民憲章（平成4年2月制定）

金剛・葛城の山並みに抱かれて発展するわがまち河南町。
わたしたちは、河南町民であることに誇りと責任をもち、
明るいまちづくりのためこの憲章を定めます。

伝えよう　豊かな緑と歴史が薫るまちを
築こう　働く喜びと生きがいのあるまちを
造ろう　健やかな人間をはぐくむ文化発展のまちを
育てよう　思いやりと安らぎのある楽しいまちを
目指そう　郷土を愛し人権を尊ぶ希望に満ちたまちを

町章

由来
全体は日章をかたどり、町名「カ・ナ・ン」の文字を図案化し、内部四つの空白は、石川村、白木村、河内村、中村の4村が一つの輪（和）に包まれ、旭日の昇るがごとく、町はいよいよ発展する意義を含めています。（昭和32年1月制定）

町の木「さくら」



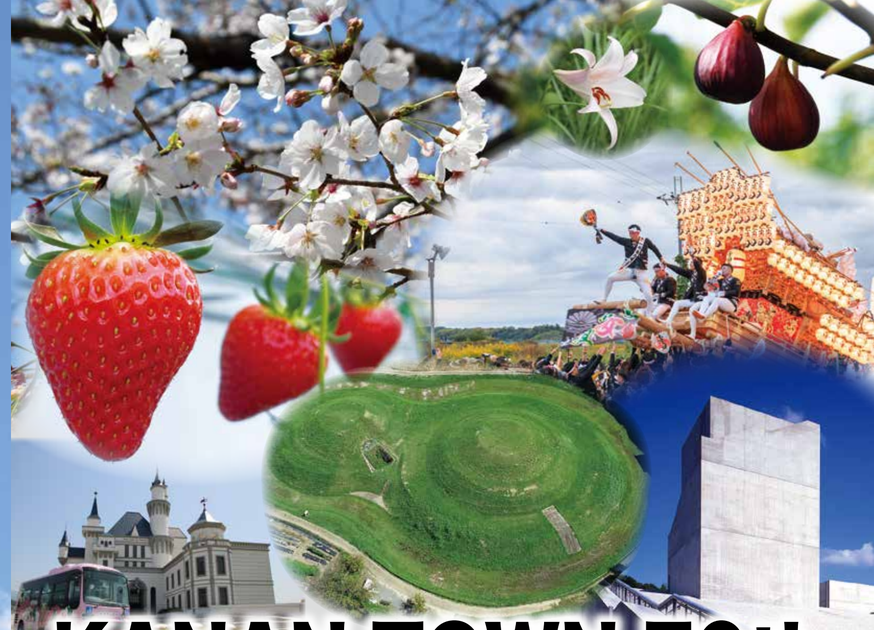
昔から、特に日本人に親しまれ、その材質は堅く、美しく重用されており、古い文化と歴史的環境に恵まれたわが町の象徴にふさわしいものです。（昭和54年5月制定）

町の花「ゆり」



自然に恵まれた山間
力強く自生する親しみやすい花で、素朴さの中にも気品があり、美しく清潔で先がひろがり、未来に向かって躍進する当町にふさわしいものです。（昭和54年5月制定）

河南町町制施行７０周年記念リーフレット
発行／河南町政策総務部まちづくり秘書課　2026年（令和8年）9月
〒585-8585 大阪府南河内郡河南町大字白木1359番地の6
TEL 0721-93-2500（代表）　FAX 0721-93-4691



KANAN TOWN 70th

河南町町制施行７０周年記念

河南町町制施行70周年
実りつなげる 未来のかなん

河南町の歩み

ー昭和・平成・令和、未来をつなぐー

昭和の歩み


▲昭和の河南町


▲町立中学校校舎


▲大宝商店街


▲近つ飛鳥風土記の丘 開園

1956年（昭和31年）　河南町の誕生
石川村、白木村、河内村、中村の４つの村が合併し、河南町が誕生しました。

1958年（昭和33年）　河南町立中学校 創立
旧村単位にあった４つの中学校が統合し、町立中学校が創立されました。

1964年（昭和39年）　浪速芸術大学（現 大阪芸術大学）開校
芸術大学が開校し、芸術・文化の拠点となりました。

1970年（昭和45年）　大宝住宅団地 入居開始
人口増加と地域活性化の大きな契機となりました。

1986年（昭和61年）　白木バイパス 開通
道幅が狭く対面通行が困難な区間解消のため建設され、地域の交通利便性が向上しました。

1986年（昭和61年）　府立近つ飛鳥風土記の丘 開園
歴史と文化の魅力を発信する拠点となりました。

1987年（昭和62年）　山城バイパス 開通（寺田北～大宝）
石川地区における交通事情の緩和を図るため建設され、地域の交通利便性が向上しました。

1988年（昭和63年）　農村環境改善センター 完成
農業振興や地域交流、学習活動を支える拠点となりました。

平成・令和の歩み

1993年（平成5年）　さくら坂住宅団地 入居開始
自然豊かな住環境のもと、新しいコミュニティづくりが始まりました。


▲さくら坂住宅団地 開発

1995年（平成7年）　総合体育館（ぷくぷくドーム）完成
スポーツと交流の場として、親しまれる施設が完成しました。

2004年（平成16年）　道の駅かなん オープン
地元の特産品や新鮮な農産物がそろう、人気の交流拠点となりました。


▲道の駅かなん

2005年（平成17年）　保健福祉センター（かなんぴあ）完成
健康づくりと福祉の拠点が誕生しました。

2011年（平成23年）　近つ飛鳥小学校 開校
石川小学校・大宝小学校が統合し、近つ飛鳥小学校が開校しました。

2019年（平成31年）　カナちゃんバス・やまなみタクシー本格運行開始
町内の移動を支える公共交通として、３年間の実証運行を経て本格運行を開始しました。


▲桜モチーフのカナちゃんバス

2019年（平成31年）　かなん桜小学校 開校
白木小学校・河内小学校・中村小学校の３校が統合し、かなん桜小学校が開校しました。

2020年（令和2年）　中村こども園 開園
かなんこども園・中央保育園が統合し、幼保連携型認定こども園が開園しました。


▲未来をはぐくむ中村こども園

暮らしのできごと

1956年（昭和31年）　河南町消防団結成



1976年（昭和51年）　小学校給食開始



1982年（昭和57年）　大災害（台風10号・集中豪雨）



1990年（平成2年）　金山古墳が国史跡に指定



1997年（平成9年）　国民体育大会なみはや国体開催



2014年（平成26年）　中学校給食開始
（新学校給食センター完成）



2020年（令和2年）　新型コロナウイルス流行



2021年（令和3年）　地域通貨カナちゃんコイン スタート



2022年（令和4年）　学校給食無償化


2026年 学校給食50周年

2023年（令和5年）　金剛ふるさとバス運行開始



河南町のいま





自然と歴史に恵まれた
緑豊かな文化のまち

数字で見る河南町

人口
14,110人
（令和8年9月現在）

世帯数
6,616世帯
（令和8年9月現在）

面積
25.26㎢

学校等
こども園　2園
小学校　2校
中学校　1校
大学　1校

公共交通
カナちゃんバス
やまなみタクシー
金剛ふるさとバス

歴代町長
6人

特産品


イチジク


イチゴ


なにわの伝統野菜

歴史・文化


日本遺産『葛城修験』
修験者の祈りを伝える２つの経塚があります。


一須賀古墳群
古墳数約250基
大阪府内でも有数の古墳が集まる町です。